

第三次青葉区民読書活動推進目標

目標Ⅰ 読書活動を介したコミュニケーション力の向上と、 区民が本に親しむ環境づくり

読書活動を通じて、コミュニケーション力の向上を図るとともに、
区民が本により親しみ、区民同士の関わりやつながりが深まるような
環境づくりを行います。

【取組内容】

(1) コミュニケーション力の向上（話す・聞く）

ア 区民誰もが参加できる読書会などを区民利用施設や学校等で開催し、読書後に意見交換などの機会を設けることで、コミュニケーション力の向上を図ります。

イ 本を介して児童・生徒がつながるきっかけづくりを行います。小中学校で読書支援ツールを活用したワークショップの開催ができるよう支援する講座を行います。

(2) 本にふれあう場づくり（親しむ）

ア 保育園等

青葉区地域子育て支援拠点（ラフル）、子育てサロンや保育園の園庭開放、幼稚園、区役所での乳幼児健診の機会などで、乳幼児と保護者が一緒に楽しめる読み聞かせなどを実施します。

イ 小中学校

学校・山内図書館・区役所の連携を深め、児童・生徒がさらに利用したいと思う学校図書館等の環境整備を支援します。

ウ 図書館等

既存の図書館サービスのさらなる充実を進めます。図書取次サービスの拡充や各区民利用施設の特性に応じた蔵書構成などのサポートに努めます。

エ 大きな活字本や点字本、また、「りんごの棚」（誰もが利用しやすい本を集めたコーナー）の区内施設への拡充と区民への周知を進めることで、読書バリアフリーを推進します。

(3) 広報の充実（知る）

図書館など区内図書貸出施設が一覧できる地図を作成するとともに、これらの施設やイベントなどの情報のほか、図書取次サービスや電子書籍サービスなどの取組について、SNSやホームページを活用した広報を行います。

目標Ⅱ 読書活動ボランティア相互の連携と、活気ある地域づくり、担い手づくり

図書館など区内図書貸出施設や、ボランティア相互の効果的な連携により、読書活動を通じて幅広い世代の交流を促進し、活気ある地域づくり、担い手づくりを進めます。

【取組内容】

(1) ネットワーク（つながる）

ア 区内の読書活動ボランティアが相互に、学び合い、情報交換する機会を増やします。

イ 図書館、地域、学校、区役所が連携して読書活動を推進する体制を確立し、区民の読書活動をより活発にします。

(2) 交流（触れ合う）

ア 小中学生と高齢者など、世代を超えた読書交流（読み聞かせ、昔話など）の機会を設け、ネットワークの拡充を図ります。

イ 外国人については、外国語の読み聞かせだけでなく、日本語の読み聞かせを通じて、日本語の学習の機会となり、多文化共生を支えるような読書活動を推進します。

ウ 青少年の地域活動拠点と連携し、読書を通じた多世代の交流を図ります。

(3) 担い手の拡大（つなげる）

ア 読書活動ボランティア入門講座やスキルアップ講座を開催し、読書活動の担い手を増やします。

イ 読書活動ボランティアの活動の場を広げるため、読み聞かせイベントや講演会の開催について、区民利用施設などへの支援の働きかけなどを行います。